

学習指導要領		都立松原高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>現代社会を生活していくうえで、現代の諸問題に関心をもたせ、その解決策を主体的に考えていく姿勢を養えるよう、日常的な問題に引き付けて考察させる。</p>
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>人間として生きていくために大切なことを多角的に考察し、社会と自分、文化と自分など様々なかかわりの中で生きていく指針を得られるよう、多方面の事柄に関心をもつ。</p> <p>青年期の特徴を知り、その渦中にある自身の問題を解決する糸口を見つけると同時に、より積極的に今を生きる姿勢が身に付くよう青年期の重要性を自覚する。</p>

学習指導要領	都立松原高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>まず経済の基本的な仕組みと機能を理解させ、その中での政府・家計・企業の果たす役割の理解を深めさせる。また、若者、女性や高齢者の雇用問題、雇用形態の多様化など現代的な問題を取り上げ、個人、政府、企業とそれぞれの立場から考察させる。</p>

学習指導要領	都立松原高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<p>現代の政治・経済の諸問題の復習と絡めながら、紛争やテロ、安全保障や防衛問題等の国際関係を理解させる。さらに貧困や自由貿易、国際協力に潜む各国の立場、思惑を考察し、平和を保っていくために大切なことは何かを追究させる。これに関連して日本の世界の調和に対する役割、また日本人の生き方をも考察させる。</p>

学習指導要領		都立松原高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>現代のさまざまな課題、資源・エネルギー問題や科学技術・生命倫理の問題、高度情報社会の課題などについて、広い視野に立ち普遍的な価値を追究させる。</p>

